

れいわ ねんど だい かい
令和4年度 第2回

いばらきししょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかいぜんたいかい
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会

かい かい
開 会

ぎ だい
議 題

① けんしゅう けいはつ ほうこく
① 研修・啓発プロジェクトチーム報告

② ちいきせいかつしえんきょてんとう ほうこく
② 地域生活支援拠点等プロジェクトチーム報告

③ しょうがいたうじしゃぶかいほうこく
③ 障害当事者部会報告

④ ちいきいこう ちいきていちゃくぶかいほうこく
④ 地域移行・地域定着部会報告

⑤ ふくしそугоうそうだんかほうこく
⑤ 福祉総合相談課報告

その他

へい かい
閉 会

いばらきししょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかい
茨木市障害者地域自立支援協議会

①^{けんしゅう}研修・^{けいはつ}啓発プロジェクトチーム^{ほうこく}報告

資料1 (P 1~6)

- ・^{けんしゅう}研修・^{けいはつ}啓発プロジェクトチーム^{しゅさいけんしゅう}主催研修について
- ・^{けんしゅう}研修・^{けいはつ}啓発内容について

^{はっぴようしゃ}発表者:^{そうだん}相談支援事業所^{えんじぎょうしょ}ゆうあい ^{ほんだし}本多氏

②^{ちいきせいかつしえんきよてんどう}地域生活支援拠点等プロジェクトチーム^{ほうこく}報告

資料2 (P 7~14)

^{はっぴようしゃ}発表者:^な菜の花^{はなしょうがいしゃ}障害者^{そうだん}相談支援^{しえん}センター ^{ふなきし}舟木氏

③^{しょうがいどうじしゃぶかいほうこく}障害当事者部会報告

資料3 (P 15~24)

^{はっぴようしゃ}発表者:^{はくせつ24}ほくせつ24 ^{やましたし}山下氏

④^{ちいきいこう}地域移行・^{ちいきていちやくぶかいほうこく}地域定着部会報告

資料4 (P 25~30)

^{はっぴようしゃ}発表者:^{そうだんしえん}相談支援センター^{ひまわり}ひまわり ^{まべし}間部氏

⑤^{ふくし}福祉総合^{そうごう}相談課^か報告^{ほうこく}

資料6 (P 31~36)

^{ちくほけんふくし}地区保健福祉センターについて(報告)

^{はっぴようしゃ}発表者:^{ふくし}福祉総合^{そうごう}相談課^か

その他^た

ぎだい しりょう
議題①(資料Ⅰ)

けんしゅう けいはつ ほうこく
研修・啓発プロジェクトチーム報告

- けんしゅう けいはつ しゅざいけんしゅう
・研修・啓発プロジェクトチーム主催研修について
- けんしゅう けいはつないよう
・研修・啓発内容について

はっぴょうしゃ そうだんし えんじぎょうしょ ほんだし
発表者:相談支援事業所ゆうあい 本多氏

令和4年度『地域で暮らそう「災害時における障害のある方の支援について」』

ぶかい プロジェクトチームめい 部会・P T 名	けんしゅう けいはつ 研修・啓発プロジェクトチーム
さんかきかん 参加機関	ふくし そうごう そうだんか しょうがい ふくし か けいどくかいしょう しゃ そうだん し えん 福祉総合相談課、障害福祉課、慶徳会障がい者相談支援セン ター、相談支援センター 藍野療育園、相談支援事業所 ゆうあい

◆背景・目的

近年、予想を上回る災害が毎年日本各地で起き、大きな被害をもたらしている。
記憶に新しいところでは、平成30年(2018年)6月の大阪北部地震や9月の台風
21号である。自立支援協議会においても、災害に対する取組や研修を行ってきた。
今年度は災害時において、「障害のある方にどのような配慮や支援が必要なのか」
を支援関係者だけでなく、市民の方にも障害理解を深めていただけるよう啓発して
いくことを目的に掲げ、併せて「避難所における障害者支援ガイド」の啓発にも協力
していくこととした。また、今年度の実施にあたっては、自立支援協議会(研修・啓発
プロジェクトチーム きかくしょ かつどうほうしん もくてき がっち ぜんてい れいねんどお しょうがい
P T)企画書の活動方針、目的に合致することを前提として、例年通りに障害
福祉サービス事業所連絡会による周知活動などの協力や、企画立案の段階から
障害福祉センターハートフルの参画を得て、オンライン研修会を実施する上での
専門的な知識技術、機材等の提供を受けた。

◆取組内容

上記の背景や目的のため、以下の取組を実施した。
具体的には、「地域で暮らそう 災害時における障害のある方の支援について」と
いうテーマで、動画作成と研修会を実施した。
動画作成においては、「茨木市水害・土砂災害ハザードマップ」、「防災ハンドブッ
ク」、「障害者避難所ガイド」を引用・参照し、災害に対する備えから避難行動、避難
所での支援におけるまで、障害のある方にどのような配慮、支援が必要なのかを10
分程の動画にまとめた。完成した動画は研修会において参加者に視聴していただ

き、今後は地域や事業所での防災研修などに役立ていただけるよう、DVDで貸出できるように準備している。

また、研修会には倉敷地域基幹相談支援センター施設長で岡山県相談支援専門員協会会長である永田拓氏を講師としてお招きし、平成30年7月の西日本豪雨での被災体験から障害のある方への支援について、ご講義いただいた。参加者は会場とZoomによるオンライン参加で、合わせて90名以上の方の参加があり、内訳としては支援関係者以外にも自主防災会、民生委員、当事者、行政関係の方々であった。アンケート結果から、大変良かったという感想を多数いただき、永田氏の貴重な体験談に深い感銘を受けるとともに、地域や事業所での災害への取組を新たに意識するという感想が多くあった。同じ相談員（支援者）として、永田氏の体験に自らを重ねて、相談員（支援者）としての在り方を振り返るような感想もあった。研修会の模様については、参加できなかった方にも見ていただけるよう、期間限定で動画配信する予定である。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中ではあったが、感染防止の対応を十分に取り、研修会を終えることができた。

なお、研修会のためのチラシや動画の作成にあたっては、市内の就労継続支援B型事業所に依頼した。

次年度以降についても、新型コロナウイルス感染症対応に配慮しながら、市民、支援関係者に障害福祉に関する情報発信や障害に関する理解を深めていただけるように取り組んでいきたい。

◆ご意見いただきたいこと

障害に関する身近な困りごとや理解を深めたいことなど、研修や啓発をして欲しい内容があればご助言いただき、次年度の参考にさせていただきたい。

ちいきく
地域で暮らそう

さいがいじ しょうがい かた しえん
「災害時における障害のある方の支援 について」

こうし
講師

ながた たく
永田 拓

くらしきちいききかんそうだんしえん しせつちょう
(倉敷地域基幹相談支援センター施設長)

こうし
講師プロフィール

しょうわ ねん う
昭和56年生まれ

しゃかいふくし し せいしん ほけんふくし し しゅにんそうだん し えんせんもんいん
社会福祉士・精神保健福祉士、主任相談支援専門員

おかやまけんそうだん し えんせんもんいんきょうかい かいちょう
岡山県相談支援専門員協会 会長

にち じ
日 時

れい わ ねん がつ か もく
令和4年11月10日(木) 13:30~15:30

かいさいあいさつ しょうがいしゃ ち いき じ りつ し えんきょう ぎ かいしょうかい
開催挨拶 障害者地域自立支援協議会紹介

さいがい じ しょうがい かた し えん なが た し
「災害時における障害のある方の支援」 永田氏

かいさいかいじょう
開催会場

いばらきし りつ だんじょきょうせい わ む
茨木市立男女共生センター ローズWAM

ていいん めい
ワムホール (定員 90名)

いばらき し もとまち ほん ごう
(茨木市元町4番7号)

さん か ほうほう
参加方法

かいじょう わ む らいじょう さん か
①会場ローズWAM ワムホールに来場して参加

ずーむ さん か
②Zoomによるオンラインにて参加

さん か ひ むりょう
参加費 無料

さん か もうしこみ うらめん
参加申込 裏面

かいじょう さん か ば あい ちゃくよう はつねつ せき しょうじょう ば あい さん か えんりょ
会場での参加の場合はマスクを着用し、発熱・咳などの症状がある場合には参加をご遠慮ください。

しんがた かんせんじょうきよう かいじょう かいさい へんこう ば あい
新型コロナウイルスの感染状況によっては会場での開催に変更がある場合があります。

さん かもうしこみ 参加申込 か き こうもく き にゅう うえ そうだん し えん じ ぎょうしょ 下記項目にご記入の上、相談支援事業所ゆうあいまでお申し込みください。 もう こ

FAX 072-649-3327 または E-mail soudan-yuai@yuai-kai.com

もうしこみ しめ きり 申込締切 がつ か もく 10月20日(木)

し めい 氏 名		
でん わ ばん ごう 電話番号		
しよ そく さき 所属先		
さん か ほう ほう 参加方法 □にチェック	☐ かい じょう 会場:ワムホール	☐ ずーむ Zoom
ずーむ さん Zoomによる参 加の場合メール アドレス		
しゅ わ つう やく はい 手話通訳など配 りよ ひつ よう かた 慮の必要な方は ごれん らく ご連絡ください		

と あ さき お問い合わせ先 そうだん し えん じ ぎょうしょ 相談支援事業所ゆうあい TEL 072-649-3320

しゅ さい 主催 いばらき し しょうがい しゃ ち いき じ りつ し えんきょう ぎ かい 茨木市障害者地域自立支援協議会

きょうりよく 協力 いばらき し しょうがい ふく し じ ぎょうしょ れん らく かい 茨木市障害福祉サービス事業所連絡会

ぎだい しりょう
議題②(資料2)

ち い き せ い か つ し え ん き よ て ん と う ほう こ く
地域生活支援拠点等プロジェクトチーム報告

は っ ぴ ょ う し ゃ な は な し ょ う が い し ゃ そ う だ ん し え ん ふ な き し
発表者：菜の花障害者相談支援センター 舟木氏

令和4年度 地域生活支援拠点等プロジェクトチーム（中間報告）

報告：菜の花障害者相談支援センター

参加：菜の花障害者相談支援センター（座長）、相談支援センター「りあん」（副座長）、
相談支援部会、事業所連絡会（居住等施設部会）、市・基幹相談支援センター

◇令和4年度取組テーマ：①「相談」、②「緊急時の受け入れ・対応」の機能

（5つの機能 ①「相談」、②「緊急時の受け入れ・対応」、③「体験の機会・場」、
④「専門的人材の確保・養成」 ⑤「地域の体制づくり」）

1. 「緊急時の受け入れ・対応」の機能についての課題整理

=短期入所を活用した緊急受け入れなどの確保や、介護者の急病などの緊急時に、短期
入所の施設受け入れ調整などの必要な対応を行なう。

検証1.5つの圏域（東西南北中央）ごとに現状を把握する。

*目的：緊急時対応に必要な方（世帯）がどれくらいあるかを知る

*方法：①身体障害者手帳・精神障害者手帳 Ⅰ級、療育手帳Aを持っている。自立支援医療
を利用している。

②本人が50歳以上64歳以下の方

③家族と同居されている。

①②③を満たす方を各圏域及びエリアごとにリスト化（合計3,778名）

→委託相談支援事業所（10事業所）が把握している方を抽出（合計309名）

→その中で、緊急度のより高い「介護者が病気等で介護ができなくなるリスクが高い人」
を抽出

*結果まとめ

・各圏域から緊急対応の必要な対象者に挙げたのは合計53名（グラフ①）

・身体障害者：22名、知的障害者27名、精神障害者15名 ※重複あり（グラフ②③④）

・何らかの障害福祉サービスの利用で障害支援区分のある方では、「区分4」「区分6」の
方が多い。次いで「区分なし」（障害福祉サービスに繋がっていない可能性の高い方）が
多い。（グラフ⑤）

- ・すでに計画相談支援を利用している方は 20名(約37%) (グラフ⑥)
- ・おもな介護者は母が最多。介護者が 70代～90代で約70%。その内80代～90代で約37%
→介護者自身がつらくても支援を求めない、自力で介護しなかなかサービスにつながらず、周りが危機感を募らせるケースが多い。

検証2. 事業所連絡会との協力で日中活動事業所での対象者の把握

＊方法：日中活動事業所を利用されている方で、上記①②③の対象の方、又は概ね1年以内に緊急事態が生じる可能性があり気にかかっている方を挙げてもらう。

＊結果まとめ

- ・日中活動事業所より緊急対応の必要な対象者に挙げたのは42名。50歳未満の方も多く含まれる。
- ・すでに計画相談支援を利用されている方は21名。
- ・検証1の圏域毎に把握した対象にも含まれている方は3名。
- ・本人の障害等級が高い方が多く、身体障害者手帳1級所持者10名。療育手帳A所持者17名。
- ・背景には本人への医療的ケアの確保の心配、家族の病気やひとり親世帯など。
- ・日中活動事業所を長く利用されている方の場合、相談支援事業所のアセスメント情報以上に普段の本人や家族の状況をつかんでいることも多い。
- 日中の過ごし方の情報 = 短期入所事業所が希望する情報。緊急時シートに共有しておきたい情報。

検証3. プロジェクトチームで改めて課題整理と取り組むべきことを考える。

5つの圏域ごとで調べた結果及び日中活動事業所からの対象者の結果を整理。今後の課題をまとめる。

【課題と対策の検討】

- ・この53名の内、介護者の体調がよくない等により、早期に対応が必要と委託相談支援事業所が考えた方は22名。その内13名は計画相談が導入されていない。(何の障害福祉サービスも利用されていない方、あるいは、障害福祉サービスを利用しているが計画相談担当が未定。)
順次これらの世帯に計画相談の関わりや支援利用のサポートを検討していくことが必要。

- ・計画相談導入の優先順位について。今回の対象者の内、介護者の体調不良など早期に対応が必要なケースに、どのように対応していくか。

→計画相談導入の優先順位の検討と相談支援専門員の確保

- ・短期入所事業所及び利用できる部屋数の確保

→短期入所事業所との連携や体制整備、感染症対策など、細やかに調整していく必要がある。

- ・医療的ケア対応施設の確保をどうするか？短期入所での看護師や専門職の確保の難しさや、新規受け入れが難しいことが多い。ショートステイ目的の医療機関への入院や訪問系サービスでのケースもある。

→緊急時に備え、事前の準備として短期入所事業所や日中活動事業所との連携・医療機関や訪問看護との連携が必要。

- ・具体的に調べることで、自分はまだ大丈夫だと思っている介護者が多いことがわかった。相談機関が把握していない方をどう把握していくか？

→事業所連絡会と連携して、日中活動事業所が把握した対象者の情報共有をする。日中活動事業所からの気づきを相談支援や短期入所事業所等につなげる仕組みをつくる。

- ・事業を知ってもらうためのパンフレットなどが有効ではないか？

→現在、福祉総合相談課で作成中

- ・「緊急時シート」を本人、家族と一緒に作ることで、いざという時の備えをしておくことが大事と捉えてもらいやすい。また、過ごす時間の長い日中活動事業所は普段の本人の生活に必要な情報をよく把握されており、一緒に緊急時シートを作成し連携を取ることができると良い。

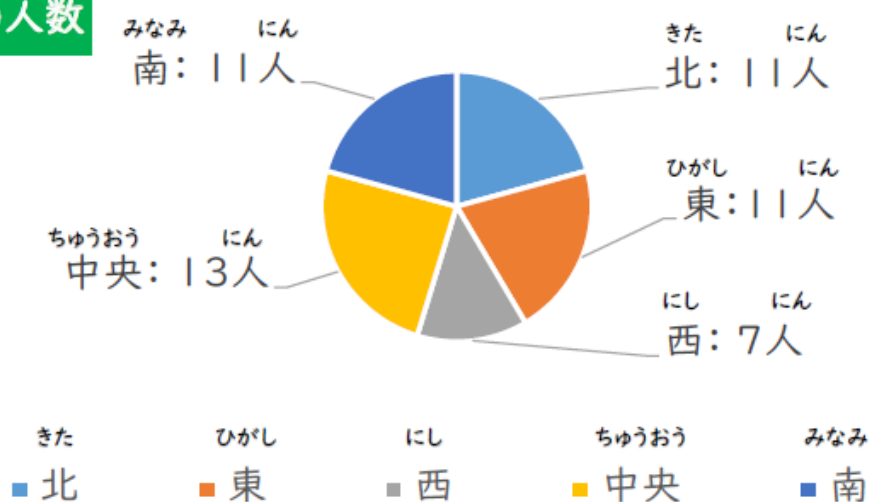
2. 緊急時の受け入れ・対応運用マニュアル・もしものときプランについて

- ・計画相談の担当者が本人、家族、在宅及び日中の支援者、短期入所事業者と想定される緊急時や困りごと、対応方法を話し合い、「緊急時シート」や「もしものときプラン」を作成。どんな時に誰と連絡を取り合って、何を準備して、緊急的にどこの短期入所を利用するかを事前に決めるようにしています。
- ・実際に作成した本人、家族、相談員や日中活動事業所、受け入れた短期入所の意見をもらい、より良いものにしていきます。

◇緊急時の対応が必要な対象者や支援の実態の把握を進め、具体的に組み立てることを整理しています。まずは、計画相談を利用されている方から順次緊急時のシートを作成し、引き続き検証を続けていきます。

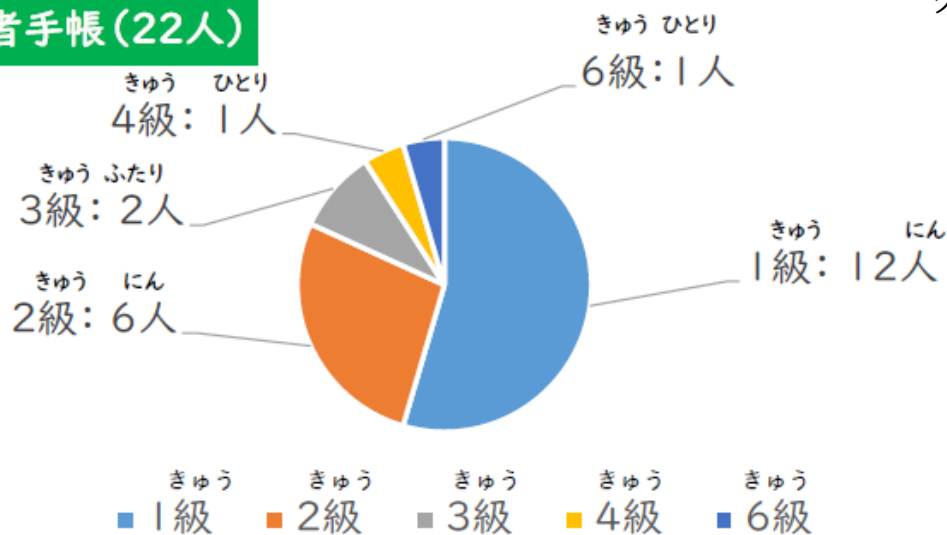
かくけんいき にんずう
各圏域の人数

グラフ①



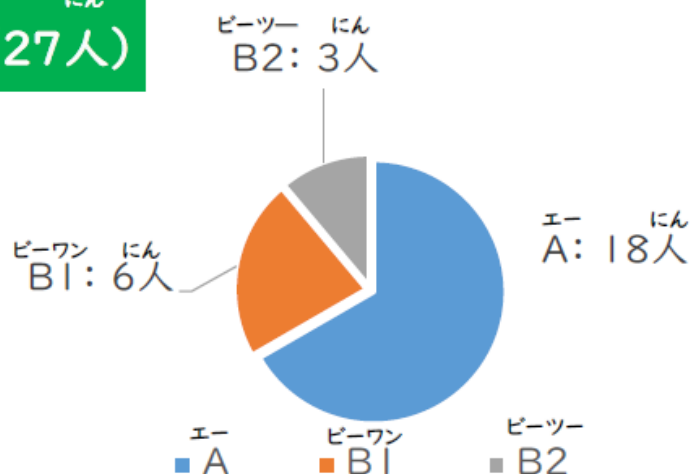
しんたいしょうがいしゃでちよう にん
身体障害者手帳(22人)

グラフ②



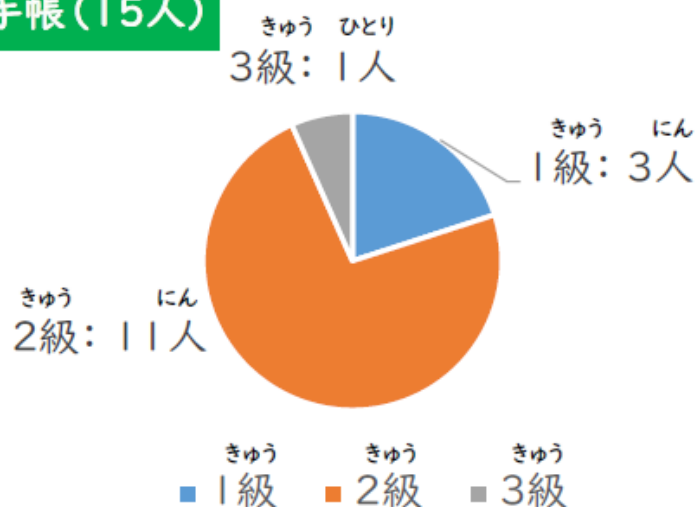
りょういくでちよう にん
療育手帳(27人)

グラフ③



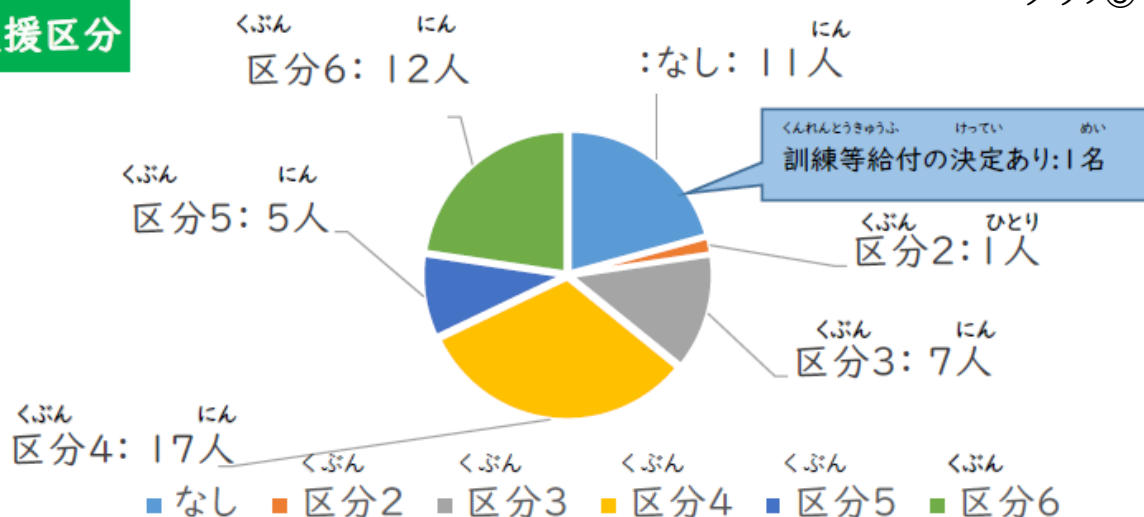
せいしんほけんふくしてちょう
精神保健福祉手帳(15人)

グラフ④



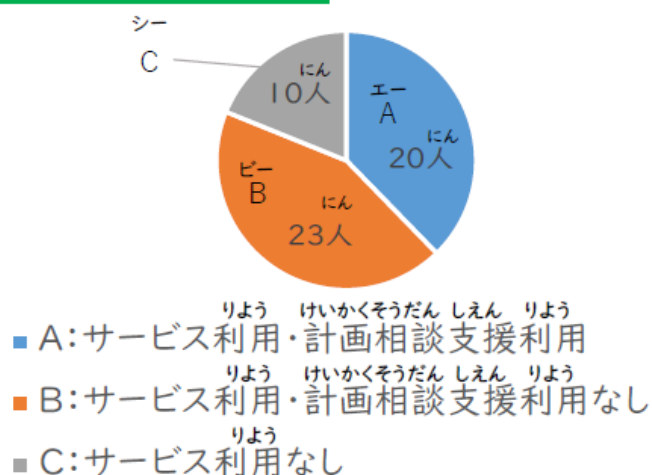
しえんくぶん
支援区分

グラフ⑤



しょうがいふくし
障害福祉サービス利用状況

グラフ⑥



ぎだい しりょう
議題③(資料3)

しょうがいしゃとう じ しゃ ぶ かいほうこく
障害者当事者部会報告

ヘルプマークアンケートの報告ほうこく

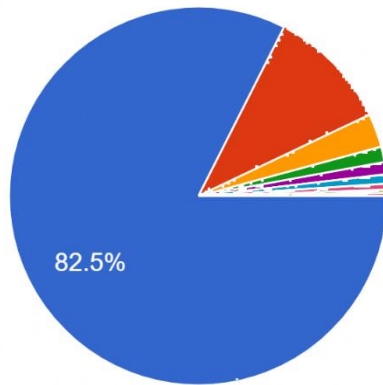
はっぴょうしゃ
発表者:ほくせつ24 やました し 山下氏

ヘルプマーク アンケート 集計結果

【対象】 茨木市内の 日中活動系事業所・相談支援事業所 106事業所 + 当事者部会
委員10名

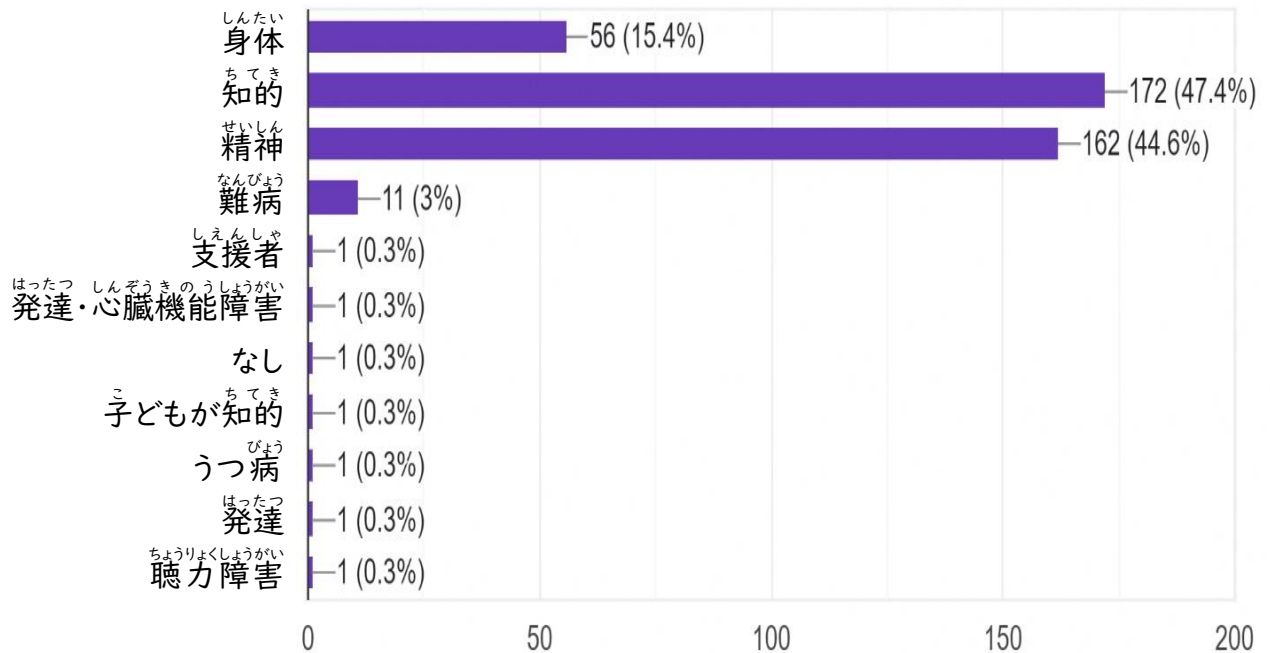
【回答】 59事業所、392名

① お住まいを教えてください。

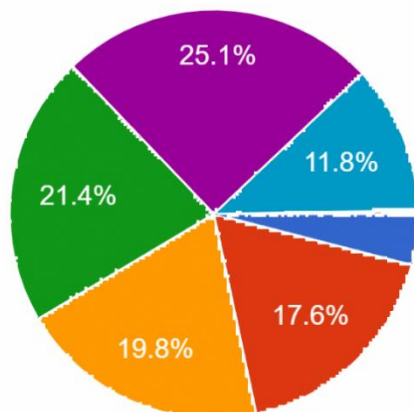


	人数	パーセント
茨木市	315	82.5
高槻市	40	11
摂津市	11	2.9
島本町	5	1.3
吹田市	4	1
箕面市	3	0.8
長岡京市	2	0.5
京都市	1	0.3
四條畷市	1	0.3

② あなたの障害種別を教えてください。



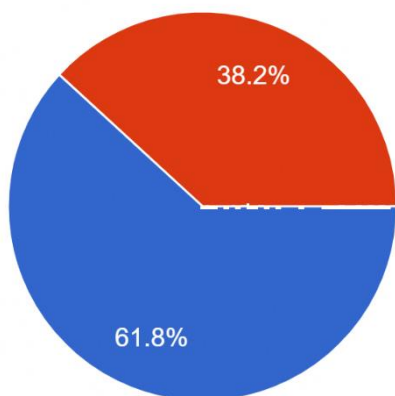
③ あなたの年代を教えてください。



	人数	パーセント
10代	15	4
20代	66	17.6
30代	74	19.8
40代	80	21.4
50代	94	25.1
60代	44	11.8
70代以上	1	0.3

④ あなたは、ヘルプマークを知っていますか？

1. 知っている → ⑤ (★) へすすむ 2. 知らない → ⑨ (🌀) へすすむ

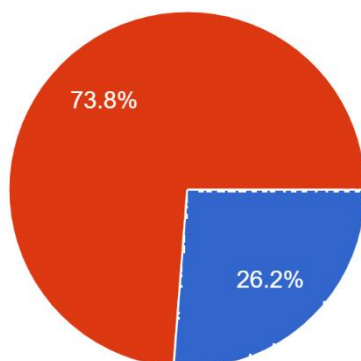


知っている	238
知らない	147

障害種別による違いは、あまりありませんでした。
年代が高くなるにつれて、「知らない」と答えた人が多くなりました。
(10代 27 % → 60代以上 45 %)

⑤ (★) あなたは、ヘルプマークをつけていますか？

1. つけている → ⑥ (♪) へすすむ
2. つけていない → つけていない理由があれば、お書きください。→ ⑨ (🌀) へ



つけている	64
つけていない	180

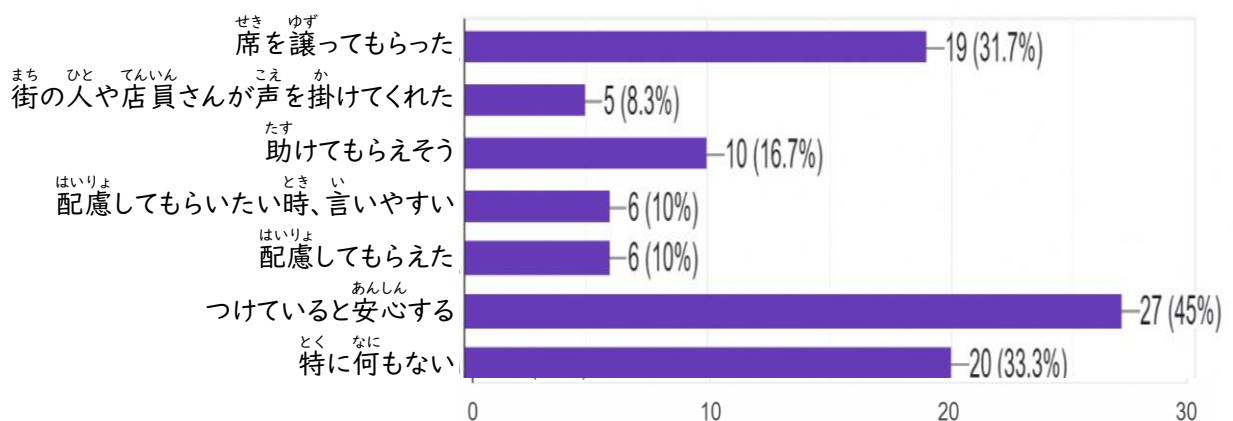
障害種別による違いは、あまりありませんでした。

→つけていない理由(抜粋)

とく こま 特に困ることがないから、必要ないから	23
もっていない	12
つけることに抵抗がある、障害があると知られたくない、恥ずかしい	11
ひとり こうどう 一人で行動することがないため	8
どこでもらえるかわからなかった	7
じぶん あ わ 自分が当てはまるか分らない、どんな人がつけるかわからない	4
くるま しよう み め 車いすを使用していて見た目でわかるから	4
ふだん はいりよ ひつよう ばしよ ちょうし わる とき 普段はつけず、配慮が必要な場所や調子が悪い時につける	3
めんどう 面倒くさいから	2

- もらっているが、カバンの中に入れてある。つけても効果がない。一般の人はほとんど知らないから意味がない。逆に赤十字関係の人と思われたり、何か資格をもって人を助ける人のように思っている人もいる。
- 街中で付けている人もいるので、つけても良いかとも思う。でも個人情報が見えるのではないかと不安
- 困った時は、携帯電話で家の人と連絡をとるようにしているから、急に声をかけられるとわからなくなる。
- 誰も知らないから
- 付けることが苦手で練習しています

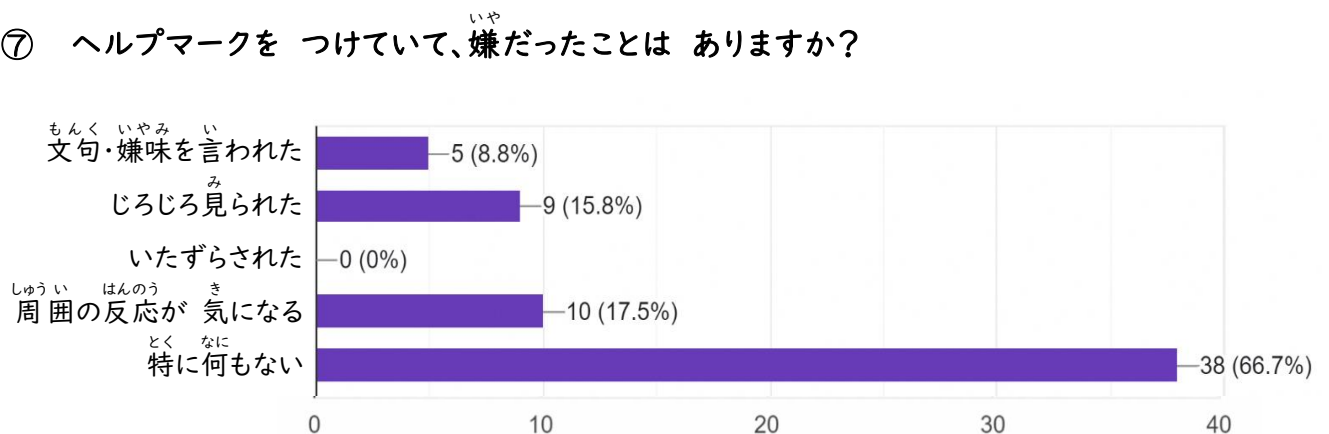
⑥(♪) ヘルプマークをつけていて、良かったことは ありますか？



→ その他(抜粋)

- 私は身体障害で車いすに乗ってるのでパッと見てわかるので、つけていての効力なのかよくわからない。
- ゆうせんせきにすわってもだいじょうぶです。
- ヘルプマークをつけていることでマーク自体を知らない人も「あれ？」と少し関心を持ってもらえたらいいと思って、外出の際には必ず子どもにつけるようにしている、
 どういうものか、どういう意味があるのかを知らうとするきっかけになればいいと。
- 歩道わたる時、車、自転車などがヘルプマークを見て道をゆずってくれる
- 未就学児の子どもにつけていますがすぐ迷子になったり、公共の場所で声を出したりしてしまうので、つけることで親の私の安心感につながっています。

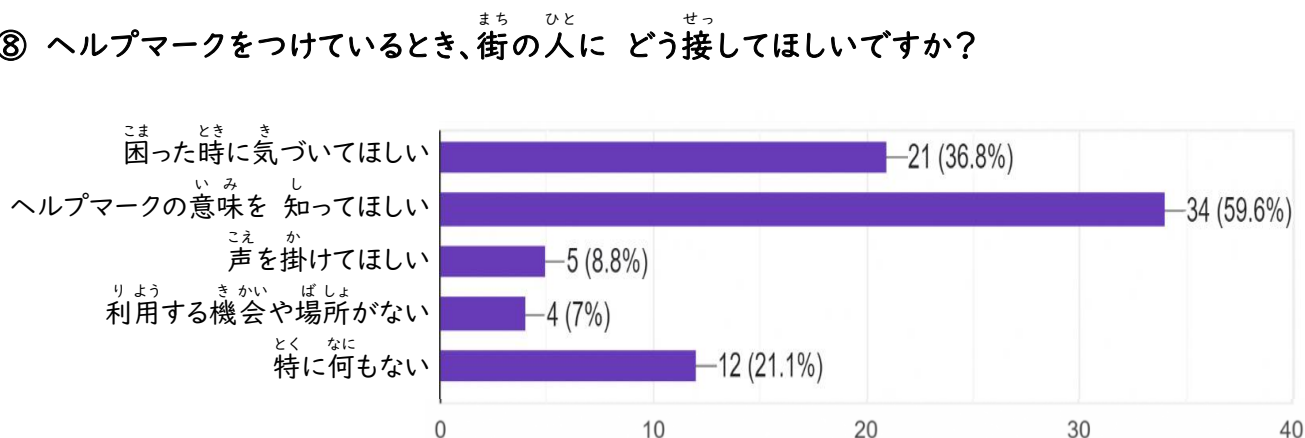
⑦ ヘルプマークをつけていて、嫌だったことはありますか？



→ その他

- だれも席をゆずってくれない
- 今はほとんどの人がスマホを見ているので気づいてもらえない
- さげられる
- まだ知られていないの。何もしてもらえない。

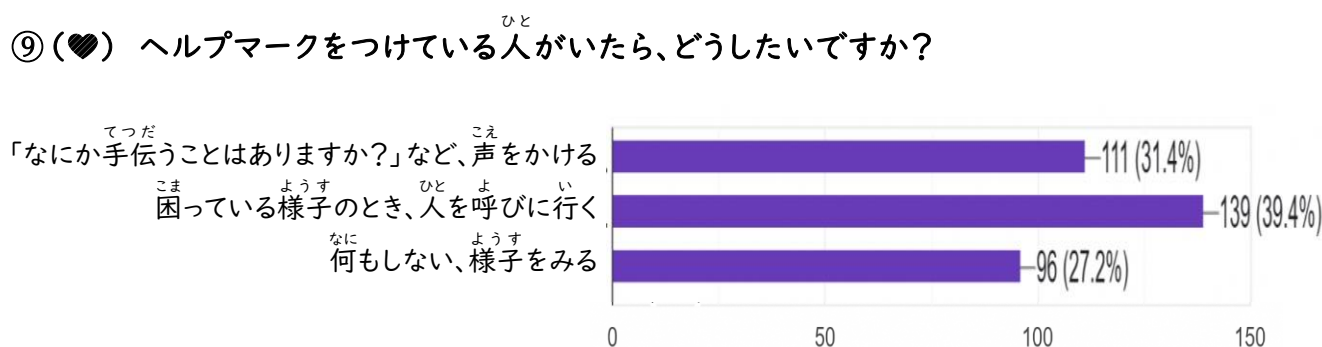
⑧ ヘルプマークをつけているとき、街の人に どう接してほしいですか？



→ その他(抜粋)

- ヘルプマークをつけた子どもが1人である場合、保護して保護者へ連絡して欲しい
- 万が一、支援者や保護者とはぐれたりした時、コミュニケーションを取る事が難しいので、ヘルプマークに気づき、保護して、ケーサツ等に連絡をして欲しい。
- やはりどこか一線をおかれているような気がするので、ヘルプマークの意味がもう少しみんなに浸透して、普通に接していただきたいですし、見るからに困っていたり、気になる行動をしている時は、声をかけてくださる、だれかを呼んでみるなどして下さるとうれしいです。
- 駅員さんがわかって早く対応して欲しい。阪急は早い

⑨(♥) ヘルプマークをつけている人がいたら、どうしたいですか？



→ その他(抜粋)

困っているようすのとき、声をかける。手助けする。	6
どうしていいかわからない。	4
電車やバス、レジをゆずる	3
他の人のを見ると、声かけていいかとまどう	2

- アンケートを^よ読んで、^{くわ}詳しくヘルプマークが^{こえ}わかり、^{おも}声かけしていきたいと思う
- 何かしたいけど^{なに}私^{わたし}の^{ことば}言葉も^き聞き取りにくいので^{こえ}声かけても^{ただ}正しく^{たいおう}対応できるか^{ふあん}不安
- 過剰にかまわれるのが^{いや}嫌な^{ひと}人かも^し知れないから^{なに}(何もしない、^{ようす}様子を見る)
- 携帯を使^{けいたい}って、^{つか}ひつだんヘルプしてあげる
- 困^{こま}って^{ちゅうい}いそうかどうか、^{みまも}注意して見守る

⑩ ^とどのような^く取り組みがあれば、ヘルプマークが^{ひろ}広まると^{おも}思いますか？(抜粋) ^{ばっすい}

テレビ、ラジオ、 ^{しんぶん} 新聞、 ^{ユーチューブ} Youtubeや ^{エスエヌエス} SNSなど、 ^{せんでん} メディアでの ^{せん} 宣伝	54
ポスターやチラシを、 ^{しやくしよ} 市役所、 ^{がっこう} 学校など ^{こうきようしせつ} 公共施設、 ^{えき} 駅、 ^{ひと} スーパーなど ^{あつ} 人が集 まるところで ^は 貼ったり、 ^お 置いたりする。 ^{じちかい} 自治会の ^{かいらんばん} 回覧板。	19
^{がっこう} 学校でヘルプマークについて ^{がくしゅう} 学習する。 ^{たいおう} 対応の ^{しかた} 仕方を ^{れんしゅう} 練習する。	11
わからない	10
^{まわ} 周りの ^{ひと} 人に ^{つた} 伝える。 ^{おし} 教える。 ^{クチコミ} 。	9
^{こうほう} 広報 ^の いばらきに ^の 載せる	8
ヘルプマークをつけている ^{ひと} 人を ^{ふやす} ふやす	8
^{しやくしよ} 市役所や ^{がっこう} 学校、 ^{じぎようしよ} 事業所で ^{たいしやうしや} 対象者に ^し 知らせる、 ^{とうじしや} 当事者に ^し 知ってもらう	8
^{えきまえ} 駅前や ^{がいどう} 街頭での ^{かんぱん} キャンペーン	7
^{こうしゅうかい} 講習会や ^{いふく} イベントをする	6
ひとりひとりの ^{しょうがい} 障害の ^{りかい} 理解を ^{がいけん} すすめる。 ^わ 外見で ^{しょうがい} 分かりにくい ^{りかい} 障害の ^{りかい} 理解。	6
つけることでの ^{りべんせい} 利便性を ^{かん} 感じるようにする。 ^{てちやう} 手帳と ^{おな} 同じように ^{つか} 使えるなど	4
^{じぎようしよ} 事業所や ^{しえんさき} 支援先で ^{くば} 配る	3
^{こんかい} 今回のようなアンケートをする	3
つけることで ^{てだす} 手助けしてもらったり、 ^{はいりよ} 配慮が ^あ 当たり ^{まえ} 前になると ^{ひろ} 広まるのでは	3
バッジや ^{いふく} キーホルダーなど、 ^{ちよくせつ} 衣服に ^{つく} 直接つけられるものを作る	3

1. 救急搬送時に医師や救急隊の人が必要とすることを書けるようにする。
2. シールを見なくても何を求めているのか（声をかけた方が良いのか、特定の状況で手伝いが必要なのか、不自然な言動があっても見守って欲しいのか等）が分かるような補助標識があると使いやすいと思います。
3. ヘルプマークにもう少し種類があれば、あるいはヘルプがほしいときの合図があれば動きやすい（白杖を上げたときみたいな）
4. 差別にならないように広まりたい。
5. 障害者手帳交付の際などに、いっしょに配布する。その際にきちんと説明してつける、つけないは本人の判断。
6. 図書館や公民館などの市の施設にあればいいと思います。
7. 難聴の手術をした人が聞き取りにくく「もう一回言って下さい」とヘルプマークがあれば言いやすい。マークがほしくて手作りを考えていました。予備で持っていたのを使ってもらっています。

⑪ その他、ヘルプマークについて 自由にご記入ください。（抜粋）

このアンケートで、ヘルプマークのことを初めて知ることができた	9
広めたい もっと知ってほしい	7
自分ももらいに行きたい、つけたい	3

1. いただける場所を増やしてほしい。なかなか市役所にいけないことも
2. シールを貼るタイプではなくて紙を入れるように袋の形にするといいかなと思います。
3. つけるにあたり、つけることを家族に反対されないか心配だった。
4. デザインもキャッチーなので目に入りやすく目立つので良いと思う
5. ヘルプが欲しい時に光るとかしたらわかりやすい
6. ヘルプマークは赤と白で目立ちやすいので、色の工夫があったら良いと思います。
7. ヘルプマークが良い意味で社会に広まっていくためには、ヘルプマークをつけることが社会的汚名（スティグマ）ととらえられないように注意する必要がある。
そのためには、少なくとも人々が「弱さ」を抱えて生きているという事実を表示し、このことを知らしめる他はない。なので、なるべく多くの種類の弱さを持つ人々にヘルプマークを「開放」していくという方向がよいと思います。

8. すぐに取りに行ける方は良いのですが、事情がある方は行くのも大変です。諦める方もいます。つける・つけないにかかわらず、手渡しまたは希望者だけでも、すぐに用意できる様にしてもらえしたいと思います。
9. わたしは経験していませんが、ヘルプマークを付けていることで、差別的ないやがらせを受けた方もおられるらしいと聞いたことがあります。
10. 逆ヘルプマーク（助けたいと意思表示のマーク）、おたすけマーク。ヘルプマークが赤なので黄色・青色・緑色のマークが逆ヘルプマークになる。困っている人を助けたいって、こまたすマーク、サポートハートマーク、マゼンタの特徴は慈愛とかでスター（星）をつけてマゼンタスターマーク。茨木市で逆ヘルプマーク・おたすけマーク・サポートハートマーク・こまたすマーク・マゼンタスターマークをつくりたい
11. 見かけたら、助けられる時は、助けたいし、理解したいです。
12. 見た目からはわからない難病です。ヘルプマークをつけることで、安心して過ごせています。とても心強いアイテムです。
13. 原則1つしかいただけないので幼稚園リュックにつけていますが、リュックがないとヘルプマークの意味がないので、自分でキーホルダーやバッジにして本人の服やプライベートのかばんにつけています。配布されているものは大きいのでいろいろなタイプがあるといいなと思います。
14. 今回、このアンケートを機に利用者とヘルプマークについて知識や理解が深まりました。実際、取得に行かれた方が2名います。又、自分たちが支援されるだけでなく、支援できることがあればしたいとかんがえられるようになったようです。
15. 自分があんしんしてほかの人にきづかいや すわっても大丈夫なきもちで すわって ゆずるように心がけています。
16. 常に誰かといっしょにいるのでヘルプマークは必要ないと思っていたが、マークを持つことで逆にひとりで行動する可能性が広がるかもしれないと思いました。
17. 沢山の方へ知ってもらって、皆がヘルプマークを持っている方へ配慮できる社会になってほしい。
18. 当事者にとっては、声のかけられ方等によって逆に嫌な思いをすることもあるので、障害のある方達への理解を広める事が大切だと思います。（難しいと思いますが）
19. 役所の窓口等で、当事者への情報提供を徹底してほしいです
20. 裏面に貼るシールがとれてしまったとき、シールだけ貰えたら、ありがたいです。

ぎだい しりょう
議題④(資料4)

ち い き い こう ち い き て い ち ゃ く ぶ か い ほう こ く
地域移行・地域定着部会報告

は っ ぴ ょ う し ゃ そ う だ ん し え ん ま べ し
発表者:相談支援センターひまわり 間部氏

れい わ ねん ど ち い き い こ う ち い き て い ち ゃ く ぶ か い か つ ど う
令和4年度地域移行・地域定着部会の活動について

さん か き か ん 参加機関	そうだん し えん けいとくかいしやう しゃそうだん し えん 相談支援センターあい・あい、慶徳会障がい者相談支援セン ター、いばら き ほ けんじょ ほうせつ24、サンライズ、いばら き りやう ご えん おお 茨木保健所、ほくせつ24、サンライズ、茨木療護園、大 さか ふ ち い き せいしん い りやうたいせいせい び こ う い き しょうがいしゃ き 阪府地域精神医療体制整備広域コーディネーター、障害者基 かんそうだん し えん な はなしょうがいしゃそうだん し えん ふくし 幹相談支援センター(菜の花障害者相談支援センター、福祉 そうごうそうだん か いばら き し しゃかいふくし きやう ぎ かい あい の はなぞのびやういん いばら き 総合相談課)、茨木市社会福祉協議会、藍野花園病院、茨木 びやういん そうだん し えん 病院、相談支援センターひまわり
--------------------	--

○ は い け い
背景

ち い き い こ う ち い き て い ち ゃ く ぶ か い ちやう き にやういん し せつにやうしや しょうがい
 地域移行・地域定着部会では、長期入院や施設入所をされている障害のある
 かた ち い き せいかつ せんたく あんしん く ち い き もくてき
 方が、地域での生活を選択できるよう、安心して暮らせる地域をつくることを目的とし
 か つ ど う
 て活動しています。

しんがた かんせんかくだいぼう し びやういん し せつ がいしゆつ めんかい
 ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、病院、施設では外出や面会の
 せいげん ほうもん か つ ど う むずか じやうきやう なか
 制限がかかり、これまでのように訪問しての活動が難しい状況にあります。その中で、
 か つ ど う ふ か え ち い き い こ う すす さい か だい お
 これまでの活動を振り返り、地域移行を進める際の課題やそれに向けてできることが
 あるのではないかという意見があがりました。

こんかい ち い き い こ う ち い き て い ち ゃ く すす しょうがい かた あんしん ち い き
 今回、地域移行・地域定着を進めるため、また、障害のある方が安心して地域で
 く 暮らししていくために、ぶかい か だい と く
 暮らしていくために、部会として課題にどのように取り組んでいくのか、また、どのよう
 とりくみ き かん たち ば じやうげん いただ おも
 な取組があればいいのか、それぞれの機関の立場からご助言を頂ければと思いま
 す。

○ ち い き い こ う し えん
地域移行支援とは

ちやう き にやういん し せつにやうしや かた ひとりぐ か ぞく とも
 長期入院・施設入所している方が、一人暮らしやグループホーム、家族と共に
 す ひつやう し えん う じぶん のぞ じぶん く ち い き なか じつ
 住むなど、必要な支援を受けながら、自分が望む自分らしい暮らしを地域の中で実
 げん
 現することです。

ち い き もど せい ど ち い き い こ う し えん
 そして、地域に戻っていくサポートをする制度が地域移行支援です。

○ 地域定着支援とは

地域で一人暮らしなどされている障害のある方が、自ら選んだ地域での暮らしを安心して続けていけるよう、困った時にすぐサポートを受けられる制度を地域定着支援といいます。

○ 地域移行を進める時の課題

1. 生活の場の確保の問題

バリアフリーの住宅が少ない、家主の理解がないと貸してもらいにくい。

グループホームが少ない。

2. 社会資源やサービス、支援者の不足

本人に必要な支援が十分に確保できない（例えばヘルパー等の支援者の不足や必ずしも本人が希望する支給決定になるとは限らない）。また、地域移行した当初は支援に対応できても、支援者が変わることで、対応できなくなる場合もある。

3. 家族や地域住民の理解

家族が施設を出ることに反対する場合がある。

グループホームを建てる時に、地域住民の同意が得られないことがある。

地域住民が、障害のある人にどのように接したらいいかわからない。

○ 課題に対しての取組

1. 地域への働きかけ

セーフティネット会議等での働きかけ等。

子どもたちへ福祉や障害理解の学習等。

2. 病院・入所施設での啓発

地域移行・地域定着という制度だけでなく、地域での暮らし方について伝える。

3. 多職種連携

関係機関が連携し支援体制が取れることで安心して暮らせる。

●ご助言いただきたいこと

地域移行を進めるにあたって、上記であげた取組についてのご助言、もしくは上記以外に必要なと思われる取組があればご助言頂ければと思います。

ぎだい しりょう
議題⑤(資料5)

ふくし そうごう そうだん かほうこく
福祉総合相談課報告

はっぴょうしゃ ふくし そうごう そうだん か そうだん に がかりちょう なごし
発表者:福祉総合相談課相談二係長 名越

ちくほけんふくし うんえいじょうきょう 地区保健福祉センターの運営状況について

ちくほけんふくし 1 地区保健福祉センターとは

じゅうみん かたがた みぢか ばしょ そうだんまどぐち せんもんちしき も そうだんいん
住民の方々から「身近な場所に1つの相談窓口で、専門知識を持った相談員に
そうだん こえ しない けんいき かく しょ ちいき そうだんきよてん せっち
相談したい」との声があったため、市内5圏域に各1か所、地域の相談拠点として設置
すす
を進めています。

ちくほけんふくし しょうがい こうれい けんこう こそだ ちいきかつどう かん
地区保健福祉センターでは、障害や高齢、健康づくり、子育て、地域活動に関する
ちいきじゅうみん さまざま そうだん う つ う つ そうだん ひつよう おう
ことなど、地域住民の様々な相談を受け付けています。受け付けた相談は、必要に応
せんもんしよく かんけいきかん れんけい たいおう
じて専門職がチームとなり、関係機関と連携しながら対応しています。

ちくほけんふくし そうだんたいおう ちいきじゅうみん しゅたい
また、地区保健福祉センターでは相談対応だけではなく、地域住民が主体となって
ちいき いっしょ きょうりよく と く
いる地域づくりも一緒に協力して取り組んでいます。

ちくほけんふくし かいせつじょうきょう れいわ ねんど ひがしけんいき れいわ ねんど
地区保健福祉センターの開設状況ですが、令和3年度は東圏域、令和4年度は
にし みなみけんいき かいせつ こんご ちゅうおう きたけんいき じゅんじかいせつ よてい
西・南圏域で開設しました。今後、中央・北圏域で順次開設する予定としています。

ちくほけんふくし ちゅうしん かんけいきかん れんけい 2 地区保健福祉センターを中心とした関係機関との連携について

しえん ひつよう かた なか もんだい ふくざつ さまざま かだい かか
支援を必要とする方の中には、8050問題をはじめとした、複雑かつ様々な課題を抱
かた こうかてき しえん おこな しえんしゃかん じょうほうきょうゆう れんけい ひつよう
えた方もおり、効果的な支援を行うには、支援者間での情報共有や連携が必要となり
ます。

ちくほけんふくし かんけいきかんだうし いま いじょう かお み
そのため、地区保健福祉センターでは、関係機関同士が今まで以上に「顔の見える
かんけい れんけい はか しえん おこな ていきてき かんけいきかんだうし じょうほう
関係」となり、より連携を図りながら支援を行えるよう、定期的に関係機関同士が情報
いけん こうかん おこな きかい もう
や意見の交換を行う機会を設けています。

かんけいきかん あつ しえん ひつよう かた たい こんご しえんほうしん けんどう
また、関係機関が集まり、支援が必要な方に対する今後の支援方針などを検討する
かいぎ ちくほけんふくし おこな ちいき そうだんきよてん きのう にな
会議を地区保健福祉センターで行うなど、地域の相談拠点としての機能を担っていま
す。

ひがしほけんふくし ふ かえ 3 東保健福祉センターの振り返りについて

れいわ ねんど かいせつ ひがしほけんふくし ちいきじゅうみん にんしき
令和3年度に開設した東保健福祉センターが地域住民からどのように認識をされ
はあく ひがしけんいき みんせいいいん ちくふくしいん ひがしほけんふくし
ているのかなどを把握するため、東圏域の民生委員や地区福祉委員、東保健福祉
しえん かんけいきかん き と おこな き と おこな
センターで支援を行っている関係機関に聞き取りを行いました。聞き取りを行った

いけん いちぶ つぎ
意見の一部は次のとおりです。

ひょうか いけん
【評価された意見】

- かんけいきかん やくわり りかい しえんしゃかん れんけい
・ 関係機関の役割をより理解することができ、支援者間で連携しやすくなった。
- ち く ほけん ふくし ちゅうしん かんけいきかん きょうりよく しえん
・ 地区保健福祉センターを中心に、関係機関が協力し、チームとして支援することができた。
- ほけんし ちいき あつ さんか しんがた はなし き
・ 保健師が地域の集まりに参加し、新型コロナウイルスの話など気になっていることを説明してくれて助かっている。

かいぜん ひつよう いけん
【改善が必要な意見】

- ひがしほけんふくし し ぐたいてき なに
・ 東保健福祉センターができたことやどこにあるかは知っているが、具体的に何を
おこな わ
行っているのかは分からない。
- ほけんし こ そうだん う しゅうち ひつよう
・ 保健師が子どもの相談を受けていることをもっと周知する必要がある。
- ち く ほけん ふくし じゅうみん じゅうみんだんたい ま こ たの
・ 地区保健福祉センターだけでなく、住民、住民団体なども巻き込んだ楽しいイベントができればいいのではないか。

こんご てんかい
4 今後の展開について

き と けっか しえんしゃかん たしよくしゅれんけい はか ししよくいん ちいき
聞き取り結果から、支援者間での多職種連携を図れていること、市職員が地域
かつどう さんか きかい ふ ちいきじゅうみん はあく いっぽう
活動に参加する機会が増え、地域住民のニーズを把握することができている一方で、
ちいきじゅうみん たい ち く ほけん ふくし かつどうないよう やくわり しゅうち ふそく
地域住民に対する地区保健福祉センターの活動内容や役割などの周知が不足して
てん み
いる点が見えてきました。

こんご ち く ほけん ふくし しゅうち すす ちいき かいぎ
今後、地区保健福祉センターの周知が進むよう、地域での会議やイベントなどで
ち く ほけん ふくし かつどう せっきよくてき はっしん おこな じゅうみん
地区保健福祉センターの活動などについて積極的に発信を行うとともに、より住民
みなさま みりよくてき うんえい と く
の皆様にとって魅力的なセンターとなるよう、センター運営に取り組んでまいります。

令和3年4月より順次開設しています！

茨木市地区保健福祉センター

このセンターは、身近な場所で世代や分野を問わない**保健と福祉**に関するあらゆる相談をお受けし、解決に向けて取り組むための施設です。

市内5圏域（東・西・南・北・中央）に順次整備を進めています。

東保健福祉センター



茨木市西河原二丁目17番4号
(旧市立サービスセンター内)
☎072-621-3371

(令和3年4月開設)

西保健福祉センター



茨木市南春日丘五丁目1番8号
(茨木市沢池多世代交流センター1階)
☎645-5011

(令和4年4月開設)

南保健福祉センター



茨木市新和町21番27号
(茨木市葦原多世代交流センター1階)
☎630-2550

(令和4年4月開設)



どんな相談ができるの？

健康づくりや生活の困りごと、子育て、障害や介護に関すること、地域活動についてなど、世代や分野を問わずご相談をお受けします。

市の保健師が常駐し、地域のみなさまと一緒に生活習慣病や介護状態の予防といった取り組みも行います。

健康づくり



生活、仕事

子育て



障害について

介護について



見守りなどの
地域づくり



どんな人たちが対応するの？

健康づくりや地域づくりのために専門職が連携して対応します。

障害者相談支援
センター



コミュニティ
ソーシャル
ワーカー
(CSW)



地域包括支援
センター
(保健師・社会福祉士・主
任ケアマネジャー)



保健師
(エリア担当)



社会福祉協議会
(コミュニティ
ワーカー)



生活支援
コーディネーター



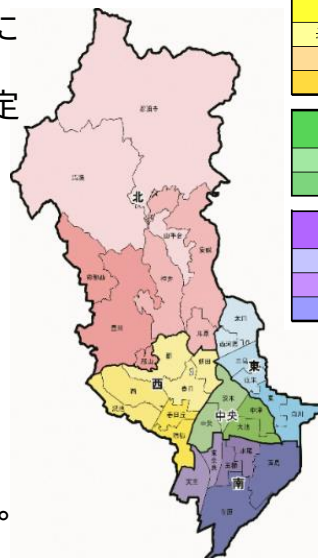


なぜ、地区保健福祉センターができるの？

住民の方々からの「行きやすい場所に1つの相談窓口で、専門知識がある人に何でも相談したい。」「出産・子育てに関して相談できる人が身近にいてほしい。」という声にこたえるため、住民の方々により近い地域に拠点を置くことにしました。

令和3年4月に東圏域、令和4年4月に西圏域と南圏域に設置しました。

令和5年4月には中央圏域、その後、北圏域に設置する予定です。



北圏域
清溪・忍頂寺・山手台エリア 安威・福井・耳原エリア 郡山・彩都西・豊川エリア
東圏域
太田・西河原エリア 沢池・西エリア 白川・東エリア
西圏域
春日・郡・畑田エリア 沢池・西エリア 春日丘・穂積エリア
中央圏域
茨木・中条エリア 大池・中津エリア
南圏域
天王・東奈良エリア 玉櫛・水尾エリア 葦原・玉島エリア



地区保健福祉センターの役割って何？

主に以下の3点を重視した取り組みを行います。

①健康づくりと生活の安定に向けた支援

地域の医療機関や福祉関係団体などと協力し、健康づくりや生活の安定に向けた働きかけを行います。

②専門職によるチーム対応

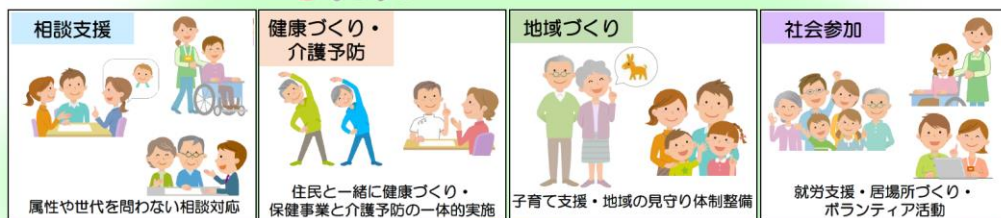
生活課題を抱える方に対して専門職がチームとなり、幅広い視野や知識を用いてすばやく対応します。

③「住民主体の健康づくりと地域づくり」に向けた取り組み

地域での居場所づくりや子育てなど、住民同士が支え合い、安心して暮らせる地域づくりをバックアップしていきます。



子ども・子育て世代・働く世代・障害者・高齢者、すべての人が支え合い安心して暮らせる地域へ



バックアップ

地区保健福祉センター



多職種での連携会議（多機関協働）

た
その他

ち い き い こう 地域移行 とは？

■ 長期入院者や施設入所者が、退院や退所をして、一人暮らしや家族と住む等、自分が望む暮らしをすることです。

● あなたが安心して新しい生活ができるよういろいろな方がお手伝いをします。

● 心配なことや困ったことがあれば、話を聴いて一緒に考えます。



れんらくさき 連絡先

いばらき し しょうがいしゃ き かんそうだん し えん
茨木市障害者基幹相談支援センター

いばらきし ふくしろうどうそうだん か
茨木市福祉総合相談課

じゅうしょ いばらき し えきまえさんちようめ ばん ちよう
住所 ■ 茨木市駅前三丁目8番13号

TEL.072-655-2758
FAX.072-620-1720



■ JR茨木駅から東へ約800m ■ 阪急茨木市駅から西へ約800m



これから どこに住もう？

ち い き い こう たい いん たい しょ
地域移行 (退院・退所サポート) のご案内

いばらき し ばん
茨木市版

地域移行の流れ

1 あなたに会いに行きます まずは相談してみよう！

病院・施設を出て、仕事につきたい、友だちがほしい、
趣味をもちたい…でもどうすればいいんだろう？
まず、相談員があなたに会ってお話を聞きます。
悩んでいることをどんどん相談しよう！



あなたにお会いし、
希望する生活の話を聞きます。

地域移行の説明を行います。



あなたを応援する人に
集ってもらい、
あなたのことを知ってもらう
機会をつくれます。



2 いっしょに準備しましょう 計画をたてよう！

住むところ、働くところ、お金のことなど
地域生活に必要ないろんなことを準備していきます。
医療や健康管理のことも相談員と一緒に考えて計画
してみよう！



住むところを一緒に探します。

あなたの希望にそって
日中過ごせる場所の体験や
市役所の手続きなどに
一緒に行きます。



退院・退所

外出経験のため、
電車やバスに乗って
一緒に出かけます。



生活に必要なものを
一緒に買いに行きます。

自分のペースで
準備をしていくことが
できます。

地域移行をされた方よりメッセージ

自分にできたから
あなたにもできるよ！

夢は見るものではなく、
叶えるものです。

地域に住む仲間を
増やしたいと思います。

誰でもできる。
一緒に考えよう！



3 新しい暮らし、はじめましょう いろんなサービスを利用しよう！

いきいきとした生活を送るためにたくさんの人の支援や
いろんなサービスを使っていきましょう。
困ったことがおきてもすぐに相談できるから
安心して地域生活に慣れていくことができます。



話を聞いてくれる人が
近くにいます。



家に訪問に行き、
新たな希望や不安なことを
聞きます。



地域移行後も安心して生活ができますよ！

仕事のこと

好きなことを楽しむ

病院やくすり



買い物

お金の管理



一人暮らしやグループホーム

お食事の用意

困りごとの相談



お友達との交流



おにも見にクルアート展

2022

開催期間・場所

- 12/1～6……………ダイバーシティアート展「創楽(SORA)」
[茨木市立ギャラリー(阪急茨木市駅 ロサヴィア内)]
- 12/5～9……………障害者の手づくり作品展スペシャル
[茨木市役所本館東玄関・南館東玄関]
- 12/8～13……………ダイバーシティアート展「創楽(SORA)」
[沢良宜いのち・愛・ゆめセンター]
- 12/15～20……………ダイバーシティアート展「創楽(SORA)」
[総持寺いのち・愛・ゆめセンター]
- 12/22～27……………ダイバーシティアート展「創楽(SORA)」
[豊川いのち・愛・ゆめセンター]
- 1/26～31……………アールブリュット展
[茨木市立ギャラリー(阪急茨木市駅 ロサヴィア内)]
- 2/1～7……………アールブリュット展
[茨木市立障害福祉センターハートフル]
- 2/13～19……………ちかつアートフェスタ
[イオンタウン茨木太田2階催事スペース]

障害のあるなし関係なく。個性あふれる数々の作品が集結
みんなで作るアートな世界へようこそ！

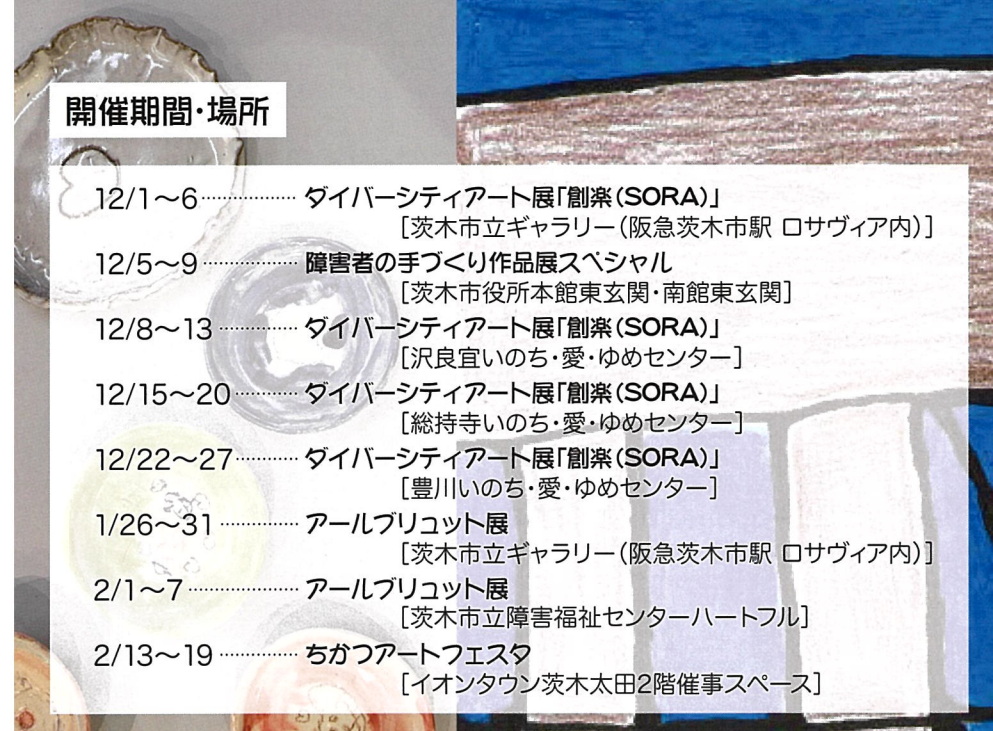
実施
団体

茨木市 市民文化部 人権・男女共生課・福祉部 障害福祉課
茨木市 人権センター 沢良宜いのち・愛・ゆめセンター
総持寺いのち・愛・ゆめセンター 豊川いのち・愛・ゆめセンター
障害福祉センター ハートフル 茨木市地域活動支援センター

スタンプラリー企画もやります！



茨木市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



おにも見にクルアート展って何？

2023年秋にオープンする新施設「おにクル」のように、おにも思わず見に行きたくなるようなアート展です。個性あふれる作品を集めたアート展が、茨木市内各所で開催されます。ぜひ、見に来てください。あなたがグッドと思う作品に出会えるかもしれません。

スタンプラリー企画もやります！

2か所以上でスタンプを押してもらえれば、会場で展示作品の入ったオリジナル缶バッジがもらえます。全8か所コンプリートすれば、激レア缶バッジがゲットできます。早いもの勝ち！



ダイバーシティアート展 「創楽(SORA)」

障害の有無や、年齢・性別・国籍等不問！
みんなでつくるダイバーシティなアート展です。
市内4か所でお楽しみください。

日時・場所

①12/1(木)～6(火) 10:00～19:00 ※最終日は17:00まで
茨木市立ギャラリー (阪急茨木市駅 ロサヴィア内)

②12/8(木)～13(火) 9:00～20:00
沢良宜いのち・愛・ゆめセンター

③12/15(木)～20(火) 9:00～20:00
総持寺いのち・愛・ゆめセンター

④12/22(木)～27(火) 9:00～20:00
豊川いのち・愛・ゆめセンター

問い合わせ先

沢良宜いのち・愛・ゆめセンター
TEL.072-635-7667 FAX.072-637-0794

総持寺いのち・愛・ゆめセンター
TEL.072-626-5660 FAX.072-622-8909

豊川いのち・愛・ゆめセンター
TEL.072-643-2069 FAX.072-641-4804

障害者の手づくり作品展 スペシャル

市内の障害福祉サービス等事業所に通う障害者の
作品展示を行います。いろんなお菓子や雑貨等の販
売もあるのでみなさん、ぜひお越しください！

日時

12/5(月)～9(金) 9:00～17:00 ※最終日は販売は15:00、
展示は16:00まで

場所

茨木市役所 本館東玄関・南館東玄関

問い合わせ先

障害福祉課
TEL.072-620-1636 FAX.072-627-1692

ちかつアートフェスタ

障害がある方の居場所支援をしている市内4か所の
茨木市地域活動支援センターのアート作品展示や
様々な体験ブースをお楽しみいただけます！

日時

2/13(月)～2/19(日) 10:00～16:00

場所

イオンタウン茨木太田 2階催事スペース

問い合わせ先

茨木市地域活動支援センター ひまわりの杜
TEL.072-625-8070 FAX.072-625-8071



アールブリュット展

北摂地域の生の芸術を創る作家さんたちによる、情熱
を込めた作品の集まりです。
ダイナミックかつ緻密で心躍る、アートな世界をご覧
ください。ペーパークイリング展も同時に開催します。

日時・場所

①1/26(木)～31(火) 10:00～19:00
茨木市立ギャラリー (阪急茨木市駅 ロサヴィア内)

②2/1(水)～7(火) 9:00～17:00 ※最終日は15:30まで
茨木市立障害福祉センター ハートフル

問い合わせ先

茨木市立障害福祉センター ハートフル
TEL.072-620-9818 FAX.072-620-9812

おにも見にクルアート展

特設ホームページ

